

いっそう元気！東近江



『第17回いっそう元気！東近江』を、令和4年12月17日に開催しました。第16回の協議をもとに、地域で切れたつながりを再構築するにはどうすればいいかを話し合いました。また1月31日開催する地域を元気にする協議体交流会（第2層交流会）で、いっそうで協議していることや、いっそうで開発してきたツールを第2層へ伝えるための作戦会議を行いました。

協議テーマ1 「つながりの再構築に向けて」

【地域の現状】

- コロナ禍で、骨折している方や急激に体調が悪くなられた方が増えたように思う。
- 自治会では、選挙も役員の集まりもなくなっているの、その状況でサロン活動だけを再開させるのは難しい。
- 行政として、自治会向けに地域行事の再開に向けた助成金の案内を行ったが、多くの自治会が活動をしないため、助成金を活用しないという返答だった。また、再開に向けての検討していないという自治会もあった。
- スタートするタイミングを失ってしまった。その中で、つながりがなくなっていることに不安を感じている人もいる。
- 自治会では、活動再開が難しそうだが、地区域では夏祭りや地区でのイベントが再開し始めている。
- 生協へのキッチンカーの要望が今年度増えており、サロンや地区のイベントが再開されていることを実感している。
- 地区域、市域のイベントには多くの人が参加し、人と出会う機会を心待ちにしていた人が多いことがわかった。
- 箕川ではコロナ禍においても、毎月サロンを続けている。コロナ前は食事を一緒にしていたが、コロナ禍になり、食事ができなくてもお茶だけあればいいと気づき、一緒にお茶を飲みながら過ごしている。
- グランドゴルフは、コロナは怖いやりたい！となっているし、始めているところも多い。楽しいと感じるものが必要なのかもしれない。集いの場の意味を伝えていくことが大切。
- 地域の雰囲気にもよる。湖東ではやってみたら良いやん！の感じで活動している。参加に関しては自己責任なところもある。
- 活動しているところはすでに積極的に活動している。
- 移動図書館を図書館事業で実施しているが、コロナ禍になり、デイサービスや介護事業所からお断りがあり、出向くことができなくなった。介護事業所に来られている方は、ご自身で本を借りに来ることが難しい方も多く、事業所だから本に親しむことができていた方も多い。
- 保健センターと協働し、移動図書館で出向く機会をつくると、それが図書館を再利用するきっかけになったという人もいた。再開を待つだけでなく、こちらから出向いていくということも必要。



【つながりの再構築に向けて】

- 思いのある人や、やりたいと思っている人の応援
 - ・地域で悩んでいる人や気持ちのある人だけでも、つながりの大切さを伝えていけると良い。地道にコツコツと進めていくことしかできないし、そのことが大切。
 - ・“やりたいことができる” 応援の仕組みやサポートがあるとよい。やりたい人が集まってくることが、地域のつながりをつくることであり、保ち続けることにもつながると思う。
- 自治会の負担感の軽減、考え方の変換
 - ・自治会の中で「負担感」があると思う。負担を少しでも軽くしていく工夫も必要。
 - ・これまでの自治会活動の課題に、運営者の負担が挙がっていた。再開する活動は、これまでと同じ方法で開催する必要はない。今できる形で、運営者も義務感ではなく楽しみながらできる活動を検討できるとよい
- 市域や地区域でのつながりの機会
 - ・地域全体で“再開していこう”という機運をどのように高めるか。地区や市域での活動を再開していくことで、自治会域にもその機運が広がっていくと思う。
- 事例やツールの紹介
 - ・市域や地区の活動に参加してもらい、つながることの楽しさや良さを実感してもらうことが、他の地域活動の再開につながるのではないかな。
 - ・コロナで活動が減ったが、活動している団体もあるので、参考にするのも良いのではないかな
 - ・地区域、市域のイベントでされていたやり方や活動を真似て再開するのも1つ。1から全て自治会で検討し開催するのは負担。再開しているところの活動事例や紹介があるとよい。
 - ・いっそう元気！東近江も、おすそ分け市を地区で開催された事例もある。1層の活動を広く周知していくことも必要。
- 防災きっかけとしたアプローチ
 - ・きっかけとして、防災を通したつながりを作っていくのもひとつ。「何かあった時の話を今からしよう」という切り口で場をつくっていくことも考えていければ。

協議テーマ2 「第2層協議体との連携～いっそうのこと第2層へ伝えるには～」



- 農PJ
 - ・農PJの冊子をどのような形で紹介していくかに尽きると思う。冊子に言いたい話が入っている。交流会でも「生きがい農業って何？」の部分を中心に説明していければと思う。
 - ・農業が健康にも良いことをアピールしたい。
- 住民×専門職
 - ・なぜこの寸劇を作成したのか目的を伝えられたらと思う。
 - ・第2層協議体交流会で、地区のどんな場へ、寸劇の出前で行くことができるかを知ることができると良い。
 - ・福祉委員の懇談会や民生委員の定例会などでも案内していきたい。
- 外出支援
 - ・地域には通院や必要な場所に行くための「交通手段」の課題が多くある。その中で、なぜこのテーマに絞って冊子を作製したのか、目的や冊子の使い方をきちんと伝えられると良い。



前回のいっそうの協議の中で出ていた「ごみ出し」の課題について、市内のごみ出しの課題の実態を把握するために、市内のケアマネやヘルパー、サポーターの皆さんへアンケートを実施することとなりました。次回のいっそうでは、ごみ出しのアンケートや、つながりの再構築に向けた地域への働きかけなどについて共有・検討をしていきたいと思ひます。